

第40回戦争と原爆の遺構めぐり

長崎県被爆二世の会では、核や戦争を許さないとの決意を新たにし、被爆者の皆さんの思いを今後の継承活動に活かしていくために、被爆60年を機に継続して取り組んできました。今回で40回目になります。

今回は、被爆体験者訴訟の原告、山内武さん（81歳、多長被爆体験者協議会会長）にお話を伺います。山内さんは2歳3カ月の時、爆心地の北東約10kmの旧伊木力村（現在の諫早市多良見町）に疎開していて、原爆に遭いました。「被爆体験者」である山内さんは、「被爆体験者」は被爆者だと被爆者としての認定を求めて闘い続けています。被爆した当時やその後の状況、被爆者としての認定を求め続けてきた運動や思いなどをお話していただきます。

貴重なお話です。ぜひ多くの皆さんに、山内さんから直接話を聞いていただき、被爆体験者の皆さんの運動の支援につなげていきたいと思えます。

日時：2025年3月8日（土）15時～17時
場所：長崎地区労働福祉会館 5階 講堂
証言者：山内武さん（多長被爆体験者協議会会長）

主催：長崎県被爆二世の会

問い合わせ先 事務局長 崎山昇

携帯電話 090-2519-2066